

■ちーびし

○プロジェクト研究会情報

第2回研究会

「地域資源を利用した観光業の可能性に関する検討」報告：坂田裕輔

日時 平成16年1月7日（水）

午後6時より

場所 鹿児島大学法文学部会議室

内容

1. 屋久島に対する観光需要の動向に関する報告
2. 地域密着型の滞在型ツーリズムの検討・提案
3. 地域活性化に向けた経済システムの提案

○執筆者紹介

・今回はプロフィールを寄せられた方々のみ掲載させていただきます。

- ①生年・出身地、②所属、③専門領域、④研究業績、
⑤奄美と関係した活動
の順番で掲載しております。

■遠城 道雄（おんじょう みちお）

- ①1958年・神奈川県
②農学部附属農場 助教授
③熱帯農学
④ヤムイモ (*Dioscorea* spp.) の生育並びに塊茎の肥大生長について 第3報ジベレリンがダイジョ (*D. alata* L.) の茎葉及び塊茎の生長並びに休眠に及ぼす作用：熱帯農業、43:65-70 (1999)
ダイジョ (*D. alata* L.) とナガイモ (*D. opposita* THUNB.) およびジネンジョ (*D. japonica* THUNB.) における諸形質の比較：熱帯農業、43:149-156 (1999)
ダイジョ (*Dioscorea alata* L.) の生育に及ぼすジ

ベレリン、アブシジン酸およびウニコナゾールPの作用：熱帯農業、45:133-141 (2001)

■木部 暢子（きべ のぶこ）

- ①1955年・福岡県
②鹿児島大学法文学部人文学科人間科学講座教授
③日本語学、日本語方言学、音声学・音韻論
④単著『西南部九州二型アクセントの研究』（勉誠出版、2000年）
共著『鹿児島県のことば』（明治書院、1997年）
⑤平成15年度鹿児島大学大学院人文社会科学研究所公開講座（名瀬市）講師

■桑原 季雄（くわはら すえお）

- ①1955年・鹿児島県
②鹿児島大学法文学部人文学科地域環境講座教授
③文化人類学、東南アジアの文化人類学、マレーシア研究
④「ヤップ島における観光化と伝統文化—比較論的

一考察一(『人文学科論集』第 54 号、2001)

共著『薩南諸島・21 世紀への挑戦・』(鹿児島大学
学多島園研究センター、2001)

「マレーシアにおける母系社会とジェンダー」
(『人文学科論集』第 52 号、2000)

⑤平成 15 年度鹿児島大学人文学科公開講座講師

学入門』(松柏社、2003 年)

翻訳『中国の書物と印刷』(日本エディタースク
ル出版部、1999 年)

共著『琉球列島宗教関係資料漢籍調査目録』(榕樹
社、1994 年)

⑤平成 15 年度鹿児島大学大学院人文社会科学研究
科公開講座(名瀬市)講師

■菅沼 俊彦(すがぬま としひこ)

①1947 年・京都府

②農学部生物資源化学科生命機能化学講座教授

③応用糖質化学

④機械的傷害によるサツマイモの内生 -フラノテル

ペン誘導因子の検索-: 農芸化学会誌、71、
1265-1272 (1997)

Monosaccharide composition of sweet potato
fiber and cell wall polysaccharides from sweet
potato、cassava and potato analyzed by
HPAEC-PAD method. Journal of Agricultural
Food Chemistry、48、3448-3454 (2000)

Degradation of cell wall materials from sweet
potato、cassava、and potato by a bacterial
protopectinase and terminal sugar analysis of
the resulting solubilized products. J.

Biosci.Bioeng. 93、64-72 (2002)

■高津 孝(たかつ たかし)

①1958 年・大阪府

②鹿児島大学法文学部人文学科日本・アジア総合文
化講座教授

③中国文学、中国書誌学、中国文字学

④共編『知のプロフィール テキストによる人文学

■津田 勝男(つだ かつお)

①1957 年・長崎県生まれ

②農学部生物生産学科病害虫制御学講座 助教授

③害虫学、昆虫病理学

④『チャバネアオカメムシから分離されたウイルス
様病原体の性状』日本応用動物昆虫学会誌、1997
年

人工飼料によるコブノメイガの飼育: 日本応用動
物昆虫学会誌、2000 年

The biogeography of the insect fauna of the
Ulithi islands、Micronesia: Kagoshima
University Research Center for the Pacific
Islands Occasional Papers No. 39、2003 年

⑤アリモドキゾウムシ人工飼料開発研究会で鹿児島
県と共同研究を実施中

■萩野 誠(はぎの まこと)

①1959 年・福岡県

②鹿児島大学法文学部経済情報学科経営情報講座教授

③経営情報論

④『情報技術と差別化経済』九州大学出版会、2003 年
『鹿児島の経営者にみる成功の法則』南日本出版
社、2003 年

⑤平成15年度鹿児島大学大学院人文社会科学研究所

科公開講座（名瀬市）講師

「広域圏交流と地方分権」『KIAC TODAY』九州

経済活性化センター、21号、1997年

「過疎地域からの分権社会づくり」鹿児島大学『新

しい関係性を求めて』No.3、2001年

■廣瀬 晋也（ひろせ しんや）

①1944年・福岡県

②鹿児島大学法文学部人文学科日本・アジア総合文
化講座教授

③日本近代文学

④「島尾敏雄の方法」（『文学批評 叙説』V、1992年）、
「鹿児島 文学者群像」（石田忠彦編『ふるさと文
学館 第53巻 鹿児島』、1994年）、

『嘉村儀多論』（双文社出版、1996年）

⑤平成15年度かごしま近代文学館「特別企画展関連
文学講座」「島尾敏雄の文学」講師

⑤平成15年度鹿児島大学大学院人文社会科学研究所
科公開講座 講師

大島高校での出前授業（模擬ゼミ）の開催（2003
年8月）

■山田 誠（やまだ まこと）

①1946年・香川県

②法文学部経済情報学科・地域計画講座・教授

③経済政策

④『現代西ドイツの地域政策研究』法律文化社、
1989年

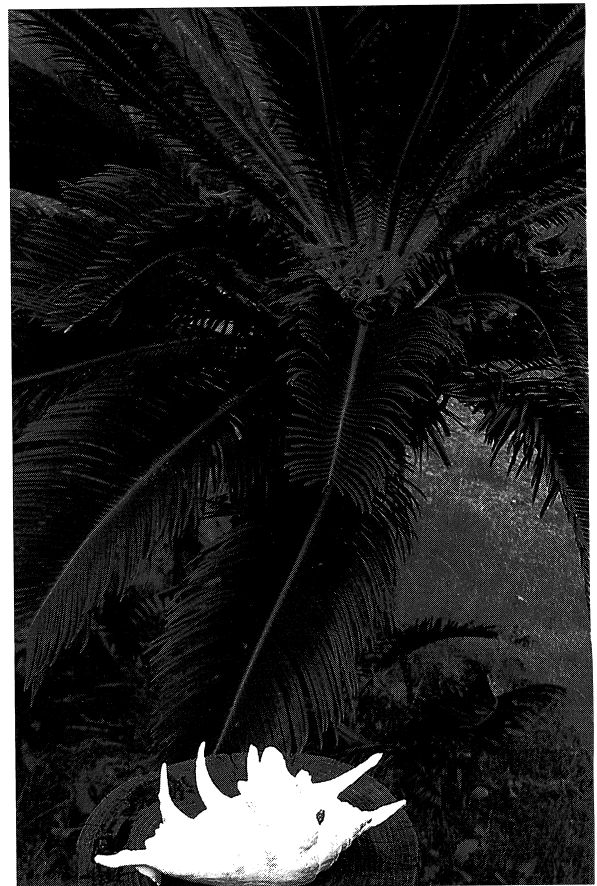
「奄美群島振興開発事業と地域振興」仲村政文編

『過疎地域にける産業の構造的特質と政策効果に関
する実証的研究』（科学研究費報告書）、1990年

『ドイツ統一と東欧変革』（編著）ミネルヴァ書房、
1992年

『ドイツ型福祉国家の発展と変容』ミネルヴァ書
房、1996年

「介護サービスの特性と日独の政策比較」西村周
三編『医療白書 1998年』日本医療企画、
1998年



○ 編集後記

創刊号をようやく世に送り出すことが可能となりました。奄美ニューズレターは、正式名称は英文表記となっております。AMAMI News Letter です。ISSN も取得いたしましたので、これから欠号をだすわけにはまいりません。編集者として、これからのプロジェクト関係者の協力と読者諸氏のご支援をお願いする次第です。News Letter のタイトルイメージは、亜熱帯・生命力の海・島の道などをもとに作成されました。編集者は気に入っておりますが、いかがでしょうか。

表紙写真は、12月の瀬戸内町の写真です。左から加計呂麻島の道ばたに咲き乱れていたハイビスカス、古仁屋漁港の夕暮れ、大島海峡に浮かぶ「につぼん丸」です。編集責任者が学生と加計呂麻島に合宿をした折に撮影しました。初冬の穏やかな奄美の雰囲気が伝わればと思っております。

創刊号ということで内容は研究プロジェクトの紹介ということになりました。研究グループすべてを紹介できませんでしたが、わたくしどものプロジェクトの概要をご理解いただければ幸いです。

次号からは、研究者からの研究レポートが紙面を埋めるはずです。創刊号は研究のマニフェストです。これからのわれわれの研究にご期待ください。

また、奄美の現地情報を紙面に余裕があるかぎり、掲載しようと考えております。原稿の締め切りは前月の20日と考えております。奄美関係者、島嶼研究者からの情報を募集しております。メールでお知らせください。また感想・ご意見も同じアドレスでお寄せいただければ幸いです。

(連絡先メールアドレス amamiNL@leh.kagoshima-u.ac.jp)

研究責任者 山田 誠

編集責任者 萩野 誠

奄美ニューズレター

AMAMI News Letter

発行 鹿児島大学

印刷 南日本共同印刷株式会社